

将来の知日派リーダー 米国のジャーナリズム専攻大学院生 10 名が来日 沖縄・神戸等を視察

国際交流基金日米センターは、「米国における知日派の育成」という日米関係の深化と発展のために必要な取り組みの一環として、米国の有力大学でジャーナリズムを専攻する大学院生を選抜し、日本に招へいするプログラムを米国・エマーソン大学に対する助成事業として、昨年度から実施しています。

今回訪日する 10 名の大学院生は、13 日間の滞在期間中、日本の大学院生との交流、メディア関係者、学者、文化人との懇談、関係機関の視察を行います。

これらを通じて、将来、ジャーナリストとして活躍することが期待される参加者の日本に関する認識を深めてもらうことで、米国における日本理解の促進につなげるとともに、ひいてはより強固で多層的な日米関係の発展に寄与することを目指します。



●来日日程：2010年11月21日（日）～ 12月3日（金）

●主な訪問先：東京・神奈川・沖縄・神戸・京都

（外務省、メディア機関（NHK、朝日新聞）、各県庁、早稲田大学、米軍基地（沖縄）、歴史博物館・美術館、震災経験者との面談など）

●被招へい者：米国の大学院でジャーナリズムを専攻する大学院生 10名

（カリフォルニア大学、コロンビア大学、インディアナ大学、メリーランド大学、エマーソン大学、ニューヨーク大学。各大学からの選抜により来日）

●主催：エマーソン大学

●助成・協力：国際交流基金日米センター

■懇親会■ 被招へい者への取材が可能です。参加を希望される方は事前にお知らせください。

■日 時■ 2010年11月22日(月)18:30 ～ 20:30

■場 所■ 京王プラザホテル 新宿（43階「ムーンライト」）

お問い合わせ： 国際交流基金 日米センター 担当： 竹代（たけしろ）

電話：03 - 5369 - 6072 FAX：03 - 5369 - 6042 E-mail：Asuka_Takeshiro@jpf.go.jp